

地域母子保健研修会 7.

「支援が必要な子どもと養育者の理解と機関連携（医療・福祉・保健）」 日程表

- < 対象 > 母子保健分野、児童家庭母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師
保育士・社会福祉士・心理士等
- < 期間 > 令和5年11月21日(火)～11月22日(水)
- < 定員 > 会場 60名 / Web 40名
- < 目的 > 子育て世代に対する包括的な支援体制の強化として、母子保健と児童福祉部門を一体化した「こども家庭センター」の市町村への設置が求められています。虐待の発生予防を担う母子保健担当と、児童虐待相談対応や要対協の担当部署が強みを生かし、伸びしろのある支援を展開できるよう、虐待された子どもやその親の理解を深めます。

月日	時間	内容	講師	講師所属
11/21 (火)	10:30～11:00	オリエンテーション・愛育班の歩みについて		
	11:00～12:00	児童虐待防止対策について 母子保健・児童福祉行政の最近の動向	笠 真由美	こども家庭庁 支援局 虐待防止対策課 事例分析指導専門官
	12:50～14:20	児童虐待が子どもに及ぼす影響と対応	加藤 尚子	明治大学文学部心理社会学科 臨床心理学専攻
	14:30～16:00	子ども虐待対応の機関連携（要対協の活用） －重篤事例等事例から学ぶ－	宮島 清	日本社会事業大学専門職大学院 客員教授
11/22 (水)	9:30～11:00	特定妊婦の支援 ボンディング形成に 着目した妊婦期からの支援	山岸 由起子	訪問看護ステーション co-co-ro 管理者
	11:10～12:30	児童相談所から見た母子保健活動の重要性	河内 裕夏	横浜市中央児童相談所 虐待対応・地域連携課長
	13:20～14:50	子ども虐待早期発見と対応 地域と医療の機関連携、多職種連携	仙田 昌義	総合病院国保中央病院小児科部長
	15:00～16:30	メンタル不調がある親への育児支援	篠山 正子 【ZOOM】	大阪大学江東共創研究センター

地域母子保健研修会 7.

「支援が必要な子どもと養育者の理解と機関連携(医療・福祉・保健)」開催要領 (ハイブリッド形式)

1. 目的

子育て世代に対する包括的な支援体制の強化として、母子保健と児童福祉部門を一体化した「こども家庭センター」の市町村への設置が求められています。虐待の発生予防を担う母子保健担当と、児童虐待相談対応や要対協の担当部署が強みを生かし、伸びしろのある支援を展開できるよう、虐待された子どもやその親の理解を深めます。

2. 期間

令和5年11月21日(火)～11月22日(水)

3. 会場

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 4階研修室
〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8 (東京メトロ日比谷線広尾駅 徒歩約8分)

4. 対象者・定員

母子保健分野、児童家庭母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師・保育士・社会福祉士・心理士等 (定員：会場 60名 / Web 40名)

5. 内容

日程表をご参照ください。

6. 申し込み

本会ホームページ上の申込フォームより、令和5年9月6日(水)～9月20日(水)の期間内にお申し込みください。Web受講については、ビデオツール「Zoom ウェビナー」を使用しでのライブ配信です。同一ご所属先から複数名ご参加を希望される場合も、お一人ずつお申込みください。

7. 受講料

会場にて受講 25,300円(税込)

Webにて受講 25,670円(税込) ※資料郵送料 370円含む

8. 受講決定

申込締切日以降10日を目途にメールにて通知いたします。

9. 問合せ先

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 研修部
電話：03-3473-8335 Email：kenshu@aiiku.or.jp